

人 HITO



オートフィルムMIZOGUCHI 代表

ガラス用フィルム施工技能士 溝口 直也さん

仕事 SHIGOTO



あっという間に美しく仕上がるカーフィルム

ひまわり

File

姫路経済情報誌 ファイル

2022 NUMBER 192

winter

特集 23

社員がイキイキ！
仕事と家庭の両立支援取組み企業紹介
大和美術印刷株式会社

Special Topics 67

Food Japan 2022 出展レポート

2022.10.13-14 サンテック・シンガポール国際会議場

姫路のひとしごと 12

オートフィルムMIZOGUCHI 代表

ガラス用フィルム施工技能士 溝口 直也さん

長く頑張っていれば
いつかは認めもらえる

溝口直也さんが起業を決意したのは33歳の頃。自動車部品の出荷を主に担当する安定した事務職に就き、3人目の子どもが妻のおなかにいることでした。「俺はこのままでいいのか。人生を変えるなら今なんじゃないか」と考え、ガラス用フィルム施工の独立開業支援合宿に申し込んだのが起業のきっかけでした。学生時代からガソリンスタンドで働き、以来ずっと自動車関連業界にいた溝口さん。車に直接触れる仕事が自分にとって理想だと考えたそうです。

6泊7日の開業支援合宿で基礎を習い、講師から「施工台数100台を超えたら何かが見えてくる」と言われたそうですが、最初はなかなか思いどおりに施工できなかったそうです。ひとことでフィルム施工といっても、車種はたくさんあり、しかも多くの車種が数年に1度はモデルチェンジします。そのたびにガラス面のカーブや形状が変更になるので、自分なりに試行錯誤し工夫を重ね、腕を磨いてきました。

平成15年9月には国家技能資格を取得。現在は息子の慎也さんと惇司さん、娘の愛子さんと家族で経営していますが、施工している息子さんたちに溝口さんは細かなところまでは指導しないそう



です。「自分なりに施工方法を考えださなければ技術は上がらない。大切なのは“きれいに仕上げる”という強い意志」であると、仕上がりに対するプロ意識を育てています。

「商売を始めた頃は、カーディーラーなどに営業に行っても門前払いで、仕事がもらえるようになるまで大変でした。昔はフィルム施工業に対する社会的な地位も高くなかった。それでも腐らずに、美しく仕上げることにこだわりながら長年続けていたら、いつのまにか施工技術を認めてくれる人が増えていったんです」と溝口さん。これまでのたゆまぬ努力が実を結び、令和4年度の姫路市技能功労者表彰を受けました。カーディテリング業界からの受賞は大変めずらしいことです。

「毎日やっても満足することなんてありません。施工技術には終着駅なしです」と、溝口さんは今日もフィルムと向き合っています。

START UP (起業家紹介) 45
理想のパンを届けるために
自分の店をオープン
じゃがばん 岸本章子さん



社員がイキイキ!

仕事と家庭の両立支援取組み企業紹介



ワークライフバランスの確立を推進してきた山本部長、篠田代表、小谷部長(左から)。

「仲が良くて元気の良いクラス」が理想

1963年に創業し、今年度で60期目を迎えた大和美術印刷株式会社。マッチやうちわ、ポケットティッシュやウエットティッシュといった商品を製造している大和産業株式会社(姫路市網干区)のグループ企業として発足し、各種チラシの制作・印刷をメインに手掛けてきました。近年では「販促水」「販促米」「販促麺」を3本柱として、企業や店舗のオリジナルデザインラベルの販促ツールを数多く製造・販売。特に「販促水」はこれまで培ってきた印刷関連の技術・ノウハウを活かすことで100本からの小ロット対応を可能に。今では類似品がほとんど見られない同社の看板製品へと成長し、大手企業への納入実績も多数積み重ねてきました。また地域密着を掲げ、顧客の80%以上を地元の企業や店舗が占めています。

同社では、「仲が良くて元気の良い小・中学校のクラス」のような組織づくりを目指しています。「中小企業は大企業のように欲しい人材を選べませんが、その分今いるメンバーがそれぞれの強みを発揮し、一致団結できる組織を理想としています。」と代表取締役の篠田さんは語ります。



常態化していたデザイン部門の 残業時間の大幅な削減に成功

そのような同社がワークライフバランスの改善に本格的に着手したのは、平成28年頃のことです。当時、チラシや販促品のデザインを担当するプリプレス部では、業務の性質上作業が長引く傾向にあり、またクライアントからの急な修正指示に対応する必要もあることから、長時間残業が常態化していました。連日残業をしていた社員が帰宅途中で交通事故を起こしたこともあり、残業時間の削減は喫緊の課題であったといいます。部長の山本さんは「特に優秀な社員ほど仕事が集中して疲弊していました。お客様に対してもこのままでは結果的に良いデザインがご提供できなくなることをお伝えし、修正指示への対応にお時間をいただくよう申し入れました。」と当時を振り返ります。

まず取り組んだのは、業務の平均化です。毎日、朝の始業時と15時に部門のリーダーが各自の仕事量を確認し、1人に偏っている場合は他のメンバーに割り振るようになりました。また個別の業務の開始時間と終了時間を記録。はじめは面倒なこともあったそうですが、継続するうちに業務の標準時間を設定でき、更に誰にどの程度の仕事が集中しているのかも可視化できるようになったといいます。

次に業務の標準化に着手。「特定の人にしかできない仕事」を無くすため、1つの業務に対して、最低2名はこなせるような仕組みを作ったことで、社員の急な休みなどイレギュラーな事態にも対応しやすくなりました。一連の活動は徐々に成果となって表れ、5年前と比べると一人あたりの月平均残業時間を25.6時間、削減することができました。

「ひょうご仕事と生活センター」より「仕事と生活のバランス企業」として表彰された大和美術印刷株式会社の取組みをご紹介します。



—高速オフ輪・UVIJ・DM・POD・デジタル軟包装・シール・ラベル印刷—
大和美術印刷株式会社

昭和38年創業。大和産業株式会社を中心とする大和グループに属し、折込チラシやパンフレットの印刷、各種ノベルティの製作などを手掛ける。

〒671-1234 姫路市網干区新在家1275番地
TEL:079-273-0125(代)FAX:079-274-2517
MAIL:mail@daiwa-ap.co.jp

「仕事と生活のバランス企業表彰」

ひょうご仕事と生活センターでは、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現推進のために先進的な取組を実施している企業・団体等を表彰しています。



「お互い様」の精神で、 互いに助け合う組織へ

また、10年以上前から「サンクスカード」という制度も実施しています。仕事の協力や普段のコミュニケーションにおいて、社員同士が感じた「ありがとう」の気持ちをカードに記し、毎月社員食堂に掲示しています。明確な成果につながる内容だけでなく、些細なことでも気軽に書けるようにハードルを下げたことでうまく浸透し、普段接することの少ない社員間の距離が縮まり、社内全体の雰囲気も明るくなったそうです。

他にも健康経営優良法人認定(3年連続)や時間単位の有給休暇制度の導入、コロナ禍にはテレワークや内勤で営業活動を行うインサイドセールスの導入など、社員のワークライフバランス向上に資する仕組みづくりに積極的に取り組む同社ですが、篠田さんによれば単に休みやすくなり、規律を緩めることを目指しているわけではありません。「会社組織では、皆が責任をもって、自分の役割を全うすることが何より大切です。例えば育児休暇を取得しやすい環境を整えていますが、復帰後は休んだ分周りのサポートができるようがんばってほしいと社員には伝えていきます。子育てだけでなく、介護も含めて、社員たちはそれぞれのライフステージに応じて仕事と生活のバランスがとりにくくなる期間が生じます。そのときに「お互い様」の精神で助け合える組織になることが目標です。」と語ってくれました。



在籍社員インタビュー

入社以来プリプレス部でチラシやはがき、販促品などの印刷デザインに携わってきました。以前は残業が多く、多い月には100時間を超えることもありましたが、現在は大幅に削減されています。また、キャリアが浅いうちは「自分の仕事が進まないのは自分のスキル不足」という意識が働き、周囲に助けを求めにくいものですが、今は1日2回ずつチームリーダーが皆の仕事の量を確認し、上手く割り振ってくれており、更に1つの仕事を2人以上がこなせるようにする仕組みもできたので、立て込んできたときにはヘルプを頼むなど、有給休暇も格段に取得しやすくなりました。また有給休暇は時間単位で取得できるので、出勤前に病院や役所に少し立ち寄りたときなどには助かっています。

サンクスカードも良い制度だと思います。普段関わる人が少ない部署の方から「内線電話で連絡をくれたときに、元気づけてくれてありがとう」といったメッセージをいただいたことがあるのですが、内容自体は些細なことでも、言葉にしてもらってとても嬉しく感じました。

会社全体の取組みによって残業時間が減ったり、社内のコミュニケーションが取りやすくなり、心に余裕が生まれたことが何より嬉しく感じています。仕事の面はもちろんですが、プライベートでも以前より充実した時間が過ごせていると実感しています。



プリプレス部制作課係長 石田朋華さん

理想のパンを届けるために
自分の店をオープン



START UP

起業家紹介

このコーナーでは
姫路で新たに活躍が
期待される事業者の方を
紹介します。

じゃがぱん 岸本 章子 さん

<https://zyagapann.jimdosite.com/>

CONTACT US



〒670-0940
姫路市三左衛門堀西の町141
シンプルハウス101
TEL 079-287-6667

Instagram

<https://www.instagram.com/zyagapann/?hl=ja>

こだわり × 技術



仕込みから焼き上げ、接客まで一人でこなす岸本さん。一押しのカンバーニューは外側はカリッと、内側はもっちりした食感に仕上げた自信作。「日を追うごとに熟成が進むので、焼いた日から3日目くらいがおすすめ」。

こだわり × 場所



「自分も長く勤めてきて、まかないの時間にいただくパンが何よりの癒しでした」という岸本さん。働く人たちに、おいしく、体に良いパンを食べて健康で働いてほしいという思いから、近隣にオフィスが集中するこの場所にお店を構えました。

働く人を癒すパン

姫路駅から南へ徒歩約10分、三左衛門堀西の町にある「じゃがぱん」。お昼時になると、近隣のオフィスからパンの香りに誘われるように多くのお客様が来店し、遠方からも定期的に通う常連客がいるほどの人気を集めています。常時15種類ほどをラインアップするパンは、生地の水分量を限界まで多くする「多加水」製法にこだわり、ジャムやあん、カレーといったフィリングは手作り。なるべく無添加・無農薬などの身体に良い素材を使用しているのは「当店のパンで働く人たちを癒したり、健康になってほしいから」というオーナーである岸本さんの思いがこめられています。

定番の食パンはハードとソフトの2種類を販売。ハード食パンは小麦の粒をまるごと挽く「全粒粉」を使用し、砂糖や牛乳を使わないため小麦の風味がよりダイレクトに味わえます。ソフトタイプは、国産小麦粉「春よ恋」を100%使用し、ふんわりした食感が特徴。「他にも国産小麦とレーズン酵母を使用したカンバーニューもおすすめです」と岸本さん。店内にはイートインスペースもあるため、こだわりの自家焙煎珈琲や紅茶とともに楽しめます。

ハード系パンへの愛が、独立のきっかけに

「週末の朝、家族でパンを買いに行った子どもの頃の幸せな記憶」が、岸本さんの原体験になっています。幼稚園から姫路で育ち、京都の大学に進学したときにパン屋さんで販売のアルバイトを始めると「小さな種が膨らんで、色々な形になるパン作りに興味がわいて」パン職人の道へ。卒業後もそのまま同店に就職し、ときには辛いこともあったという修行を4年間続けながらパン作りの腕を磨きました。その後姫路に戻り地元のパン屋さんで働きだした頃、岸本さんは京都と姫路のパン文化の違いを感じたといいます。「京都にはパン屋さんの数が多く、ハード系のパンも人気です。姫路はまだ『ハード系＝硬い』と思われる方が多い印象なのですが、実際は食べにくさもないし、熟成した小麦のうまみや香りがより味わえるんです。」と語る岸本さん。「姫路にハード系パンを出す店がないのなら自分で作ろう」と独立を決意し、2022年4月にお店をオープン。一方で姫路に根付いたソフト系パンにも奥深さを感じるようになったことから、独立後はソフト系/ハード系の両方のパンを作っています。

パンの魅力を広めるために

お店の周辺は散歩コースにもなっているため、散歩を楽しむ地域の方々のために店舗前に設置したベンチを休憩場所として開放しています。他にも学生時代のニックネームが店名の由来になっているというエピソードや、控えめながらあたたかみを感じさせる看板からも、岸本さんの飾らない人柄がうかがい知れます。この日の取材でも「オフィスからのお客様が減る週末は売れ残りそうになるパンがあるのですが、SNSで告知すると近隣の方が買いに来てくださいます」と、地域に支えられていることへの感謝の言葉を口にされていました。

今後は、曜日による来店者数のバラツキをなくすためにお店の知名度を高めること、また以前出展していたマルシェイベントなどに再び参加して、食に携わる人たちと交流することを目標に掲げる岸本さん。心から愛するパンの魅力を広めるために、忙しくも充実した毎日を送っています。



起業アドバイス

じゃがぱんの開店にあたっては、事前にしっかりと準備したことが功を奏しています。開業資金はパン店の勤務時代から計画的に貯蓄し、商工会議所からのアドバイスで日本政策金融公庫からの借入を受けることで調達しました。商工会議所からはさらに事業計画書の作成指導を受けたほか、創業塾も受講。また姫路市のまちなか・商店街創業支援事業補助金も活用しました。また「準備期間に独学で簿記やパソコンの勉強をしたことも、開店後に役立っています」という岸本さん。帳簿付けなどの作業が格段にスムーズになり、お店のホームページも自分で作成・更新されています。

Special Topics

Food Japan 2022

出展レポート

2022.10.13-14 サンテック・シンガポール国際会議展示場

10月13、14日にシンガポールで開催された、日本の食に特化した見本市「Food Japan 2022」に姫路市として出展しました。姫路市が取り組む地場産品の海外販路支援と、今回の展示会の様子などをご紹介します。



姫路市のブースには多くの来場者が訪れ、盛況でした。

地場産品の販路拡大を支援

姫路市では、コロナ禍で大きな影響を受けた地場産業事業者を支援するため、地場産品の魅力発信や、国内外への販路拡大支援等に取り組んでいます。その一環として、ポストコロナを見据え、国際的な競争力を高めるとともに、円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化を図るため海外販路の拡大に力を注いでいます。

特に、高い経済成長率を維持している東南アジア諸国では、より品質の高いもの、信頼のおける製品への需要が年々高まっており、ジャパンブランドを求める声も大きくなっています。このたび、シンガポールで開催されるASEAN市場最大級の「日本食」をテーマとした総合見本市「Food Japan」に姫路市ブースとして出展しました。



Food Japan 3年ぶりのリアル開催

ASEAN市場最大級の「日本の食品」「日本の食品機械」「日本のサービス」を展示テーマとした総合見本市「Food Japan」は、日本の農林水産品や加工食品、飲料、食器や調理器具、店舗設備など、東南アジア市場向けの商品が一堂に会し、シンガポールやその周辺国から来場したレストランオーナー、輸入商社、小売業者等と商談できる場として開催されています。コロナ禍で一昨年は中止、去年はオンライン開催になったことから、2022年は3年ぶりのリアル開催となりました。

今年は日本及びシンガポールから101社が出展する中、姫路市としては、2018年以来4年ぶりの出展となりました。姫路市ブースでは、地場産品に関連する5事業者「壺坂酒造株式会社（日本酒）、株式会社本田商店（日本酒）、合名会社アリモト（せんべい）、常盤堂製菓株式会社（かりんとう）、株式会社播磨産（冷凍生牡蠣）」が出展。また、会場内には自社で出展した市内企業もあり、多くの来場者でにぎわうなか、姫路の地場産品の魅力をしっかりとPRすることができました。

姫路市ブースに現地参加した壺坂酒造株式会社の代表取締役壺坂良昭さんに話を伺いました。

海外を肌で感じる貴重な機会

壺坂酒造では2006年に初めて海外進出し、現在は約10カ国と取引があります。シンガポールにも取引のあるインポーター（輸入業者）があり、今回の出展ではブース内で応援してもらいました。

国内ではコロナの影響で飲酒を控える風潮が続き、日本酒業界は大変厳しい状況と言わざるを得ません。そんな中、世界中の国々では日本よりもずいぶん前に通常の生活に近いかたちに戻ったため、早い段階から順調に販売ができています。もしも国内の販売だけにとどまっていたら、もっとダメージが大きかったと思います。

日本酒業界では通常1カ国につき1社のインポーターと取引し、複数社と契約することはほとんどありません。そのため、信頼のおけるインポーターを見つけることが重要となります。「Food Japan」のようなイベントでインポーターと出会い、実際に会話をし、どのような人なのか、どのような会社なのか肌で感じてから契約することは、とても意味があると思っています。

また、現地の人々の嗜好についても、目の前で飲んでもらい、その表情や感想から本音を推測することができます。東南アジアでは甘い飲み物が好まれる傾向が強いため、以前は特別に甘い日本酒を醸造し、輸出もしていました。しかし、日本酒の味を理解する方が増えてきたおかげで、近年は国内で販売している商品と同じもので十分受け入れられるようになりました。このような変化も、現地でいろいろな方の意見を聞くことで気づけるんです。

海外展開は1社ではなく地域全体で

このようなイベントの場での出会いをきっかけに、壺坂酒造は出荷先が少しずつ増えていきました。今回の出展でも40件程度の商談ができ、数件は大きな話が進みそうです。ただし、一度の出展だけではそううまくいかないと感じています。何度も出展することで「去年も来てたよね」と、ブースを訪れてくれる方が増えていきます。

継続して出展することは、自社だけでは費用や労力面の負担がかなりのものになるため、姫路市からのブース出展料等の支援は心強いです。さらには、地域で集まって出展することのメリットは計り知れないと思っています。日本酒だけをアピールするより、同じ土地でとれた食べ物とセットでおすすするとより一層相手の心に響きます。今後は、姫路という豊かな土地で生産された美味しいものを、パッケージにして海外へ販売していきたいと考えています。

会社案内

壺坂酒造株式会社
〒671-2103
姫路市夢前町前之庄1418-1
TEL 079-336-0010
FAX 079-336-1530



左: 壺坂良昭さん
右: 姫路市産業振興課 守本亮介(聞き手)



問い合わせ先
姫路市産業振興課
☎(079)221-2453

姫路しらさぎ商品券の利用期限が迫っています!

利用期限 令和5年1月31日(火)まで

※利用期限を過ぎた場合は無効となります。
 ※商品券の払い戻しはいたしません。
 ※利用できる店舗は専用ホームページおよび専用アプリ「姫路しらさぎペイ」にてご確認ください。

参加店舗の皆さまへ

- 紙タイプ商品券の換金は、使用済み紙タイプ商品券を令和5年2月8日(水)までに精算センターへ到着するよう送付してください。詳細については、参加店舗マニュアルをご確認ください。
- デジタル商品券の換金は、自動精算されるためシステム操作は不要です。

問い合わせ先

姫路しらさぎ商品券発行事務局(コールセンター)
 ☎(0120)077-137 (受付時間)9:00~17:00(平日のみ) HP▶<https://himeji.prm-shohinken.com>
 ※コールセンターの開設は、令和5年2月末まで



Garden Christmas 2022を開催しました

令和4年11月18日(金)から12月25日(日)まで、姫路駅前にぎわい交流広場キャッスルガーデンで、「Garden Christmas 2022」を開催しました。毎年恒例となっているクリスマス期間に合わせた企画ですが、今年はキャッスルガーデン一面に光を投射することで、青く幻想的な空間に様変わり。約8メートルの特大クリスマスツリーと歩いて楽しい青の回廊が登場しました。光や映像、音を組み合わせた演出も好評で、連日、多くの方がお越しになり、クリスマスムードを楽しんでいただけました。

また、「つながるHIMEJI Christmas」と題し、中心市街地の複数施設のライトアップ期間をそろえることで、より華やかなまちなかの演出に取り組みました。さらに12月17日(土)、18日(日)には姫路駅周辺の商業施設や、商店街などと一緒に「ちびっこサンタ大行進」を開催。クリスマスのコスチュームを身にまとったお子さまへお菓子などをプレゼントし、笑顔あふれるイベントとなりました。

今後も地域のみなさんと連携してにぎわい創出に取り組んでいきます。



問い合わせ先 姫路市産業振興課 ☎(079)221-2513



セミナー 中小企業者向けセミナー 参加者募集!

姫路商工会議所において、中小企業者を対象としたセミナーを開催します。いずれのセミナーも無料となっておりますので、ぜひご参加ください。

【事業承継サポートセミナー】

① 日時 1月13日(金) 14:00~16:00

内容 「地域と人を活かす事業承継～浜野製作所の挑戦～」
 株式会社浜野製作所 代表取締役CEO 浜野慶一氏をお迎えし、事業承継時からの失敗と成功の実体験に基づいた復活秘話を熱く語っていただきます。

② 日時 1月26日(木) 13:30~16:30

内容 「ゼロから学ぶ事業承継・M&Aの基礎」
 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター支援員の方をお迎えし、事業承継における課題の明確化や事業計画の作成、税金の基礎知識等について、分かりやすくご説明します。

【デジタル化推進セミナー】

① 日時 1月19日(木) 14:00~16:00

内容 「DX推進に向けたBPR(業務改善・改革)の進め方」
 DXを進めていくためのカギとなる「現在の業務を見直し、改善していくこと=BPR」について解説し、具体的な進め方について、ワークを通してご説明します。

② 日時 2月16日(木) 14:00~16:00

内容 「Googleマップ活用 集客&売上アップセミナー」
 初めての方でもすぐに集客や販促に活かせるような取組みを分かりやすく解説します。

【共通】

場 所 姫路商工会議所(姫路市下寺町43番地) 参加費 無料

申込方法 下記問い合わせ先までFAX、郵送または、HPよりお申込みください。
 デジタル化推進セミナー②については、HPからの申込みのみとなっております。

申込み・問い合わせ先 姫路商工会議所 中小企業相談所 〒670-8505 姫路市下寺町43番地
 ☎(079)223-6557 FAX▶(079)222-6005 HP▶https://www.himeji-cci.or.jp/seminars_events/

セミナー 令和4年度

兵庫県立ものづくり大学校「在職者訓練のご案内」(2月分)

県立ものづくり大学校では、企業で働いておられる方へのさまざまなスキルアップを図るメニューを用意しています。ぜひご利用ください。(最新の受付状況につきましてはHPをご覧ください。)

《基礎講座》入社1~2年目の新入社員および入門者を対象とした講座

■JWCAD「建築」入門

日 時 2月4日、11日、18日(すべて土曜日) 9:00~16:00 受講料 6,000円

申込み・問い合わせ先

兵庫県立ものづくり大学校 在職者訓練課
 ☎(079)240-7363 FAX▶(079)281-6626
 HP▶<https://monodai.ac.jp>

お知らせ 令和5年度在職者訓練講座のガイドパンフレットにつきましては、2月上旬頃の発行を予定しております。会社・自宅への送付を希望される方は、当校の在職者訓練課までご連絡ください。また、同時期に当校HPにも掲載予定ですので、ぜひご確認ください。

場 所 兵庫県立ものづくり大学校 姫路市市之郷1001番地1 JR東姫路駅から徒歩3分(有料駐車場あり)

申込方法 (FAXの場合) 受講申込書に希望コースと必要事項をご記入のうえ、送信ください。
 (申込書はHPの「在職者訓練」よりダウンロードいただけます。)
 (ホームページの場合) HPの「在職者訓練」申込みフォームよりお申込みください。
 ご不明なことがありましたら、上記の「申込み・問い合わせ先」までお問い合わせください。

世界遺産 国宝 姫路城 2023年オリジナルカレンダー

お買取りに
お問合せください

A2 壁掛けオリジナルカレンダー (420×594mm/カラー/13枚)
 B4 中綴じオリジナルカレンダー (257×364mm/カラー/16頁)
 A5 卓上オリジナルカレンダー (210×148mm/表:カラー、裏:1色/13枚裏面)
 ※絵はがきとしてもご利用いただけます。

お申込み
お問合せは

永井産業株式会社
 姫路市北条宮の町385番地 永井ビル7F TEL: 079-282-2061(代)

自社で栽培したさつま芋を使用した本格芋焼酎。
 華やかな香りと上品な口当たりで、
 飲みやすく仕上げた白の「千姫のみみだ」。
 厳選したさつま芋を使用し、
 さらに香り豊かに仕上げた黒の「千姫のみみだ黒」。
 焼酎の本場宮崎で蒸留したこだわりのオリジナル焼酎です。

【焼酎販売】
 永井産業株式会社本社、播磨館、下山酒店 他

焼酎 千姫のみみだ
 720ml 1,650円(税込)
 1800ml 3,300円(税込)
 樽720ml 2,750円(税込)
 化粧箱付 3,140円(税込)

集合写真・お教室や企業のイベント撮影承ります!

1時間
撮影料 **5,500円(税込)** + **商品代**

メリット お写真はインターネット販売となります。気に入ったお写真だけ購入していただけますので、予算を削減可能となります。

※姫路・高砂・加古川以外は、交通費別途となります。アルバム・額等の作成も承っております。お気軽にご相談ください。

令和5年度 姫路市業者登録申請について

姫路市が行う工事や製造の請負、物品の購入、役務の提供の競争入札などに参加するためには業者登録が必要です。今回は、登録のない新規業者と既に業者登録をしている業者で業種等の追加を希望する方を対象に、申請の受付を行います。また、建設工事の業種については、毎年度、格付けを行っていますので、建設工事の業種に登録のある業者の方は、所定の期間内に格付申請書類の提出が必要です。

【新規登録、業種等の追加を希望する場合】

- 申請方法** 郵送申請 **申請期間** 令和4年12月20日(火)～令和5年1月20日(金)
- 申請手続** ・申請にあたっては、事前に郵送交付により「登録申請書」の交付を受ける必要があります。
・交付を受けた「登録申請書」に必要事項を記入し、添付書類とともに申請期間内に郵送してください。
- 必要書類** 「登録申請書」以外の申請関係書類は、契約課HPからダウンロードできます。
- 申請書類送付先** 姫路市役所 契約課 (〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地)

【建設工事の業種に登録のある業者(格付け申請)】

- 申請方法** 電子申請 ※郵送申請は不可とします
- 申請期間** 令和4年12月20日(火)～令和5年1月20日(金) (電子申請システムの停止期間を除く)
※別途提出が必要な書類については、令和5年1月27日(金)までに契約課必着
- 申請手続** ・HPから電子申請できます。(ID、パスワード要)
・ID、パスワードは12月中旬に送付しました「令和5年度姫路市業者登録申請(工事格付け申請)のご案内」に記載しています。
・電子申請後、別途提出が必要な書類を指定する期日までに姫路市役所契約課へ送付してください。
・業種の追加を希望する場合は、郵送申請をしてください。
- 必要書類** 「格付調書」以外の申請関係書類は、HPからダウンロードできます。
- 申請書類送付先** 姫路市役所 契約課 (〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地)

問い合わせ先 姫路市契約課 ☎(079)221-2238
HP▶<https://www.city.himeji.lg.jp/sangyo/category/4-3-2-3-2-5-0-0-0-0.html>

マイナンバーカードの出張申請受付を行います

会社や施設等の職場に訪問して、マイナンバーカードの申請を受付(顔写真無料撮影)します!本人確認書類などの必要書類をご用意いただく、マイナンバーカードは後日、ご自宅(住民票のある住所地)へ郵送しますので、市役所へ受け取りにきていただく必要はありません。仕事でマイナンバーカードの申請をする機会がなかった方など、この機会に職場の皆さんで申請しませんか?

- 出張申請の要件** ①対象者が10名以上いること。②当日ご本人が申請の手続を行えること。
③新型コロナウイルス感染症対策を講じた場所や什器類をご用意いただけること。
- 手続きの流れ** 希望日の1カ月前までに、電話又はメールでお申し込みください。
申込み受付後、市より日程等をメールでお知らせし、事前打合せを行います。

◆申し込みの際に必要な情報など、詳しくはHPでご確認ください。

<ますます便利に! マイナンバーカード>

マイナンバーカードは、公的な身分証明書として利用できるほか、住民票の写しなどの証明書がコンビニなどで簡単に取得できたり、行政手続のオンライン申請などでも利用できます。また、健康保険証としての利用が開始したほか、令和6年度末には運転免許証との一体化も予定されています。ぜひ、便利に活用してください。



問い合わせ先 姫路市マイナンバーコールセンター ☎(079)221-2150 E-mail▶shimin-2@city.himeji.lg.jp
HP▶<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000013269.html>

産学協同研究助成金について

姫路市では、大学の学術研究の振興と企業の技術の向上を促進するために、播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業と、市内の大学が協同で行う研究に対して研究に関する費用の4/5以内かつ200万円を上限として助成金を交付しております。理系分野に限らず、幅広い分野の協同研究が対象ですので、協同研究の実施を計画されているグループの方は、積極的にご活用ください。(例年3月上旬～5月上旬に募集)

問い合わせ先 姫路市高等教育室
☎(079)221-2596

令和4年度 助成対象グループ

- ◆CBP殺菌水研究グループ「化学農薬の代替となる安心安全な殺菌水の開発」
- ◆高耐久型水素燃料電池研究グループ「カーボンフリー水素燃料電池用超高耐久型触媒の開発とその実証研究」
- ◆医療用チューブ抜去モニタリングシステム開発グループ「医療用チューブ抜去モニタリングシステムの研究開発」
- ◆姫路発・ナノ粒子による新がん治療開発チーム「色素類似抗がん剤のナノ粒子化による副作用低減研究」
- ◆HIMEJ「畜産研究プロジェクト」[姫路和牛の生理評価・官能評価とメタボローム解析研究-牛肉の美味しさに関する総合環境(肥育後期)の研究と指標化]
- ◆HIMEJ「八升豆プロジェクト」[機能性植物の増殖・加工に関する開発研究-在来種ハッシュウマメ(ムクナ)の活用]

PCB含有の電気機器を使用・保管していないか点検を

低濃度ポリ塩化ビフェニル(PCB)を含む廃電気機器等(変圧器、コンデンサーなど)を保管する事業者は、PCB特別措置法に基づき、低濃度PCB廃棄物を令和9年3月31日までに処分委託する必要があります。事業所内の電気室やキュービクル(高圧受電設備)、保管倉庫などを点検してください。PCB廃棄物がありましたら、市への届け出と適正な保管・処理をお願いします。詳しくはHPで確認を。なお、高濃度PCB廃棄物は令和3年3月31日で処分期間が終了しましたが、万が一高濃度PCB廃棄物が見つかった場合は、速やかにご連絡ください。

問い合わせ先 姫路市産業廃棄物対策課 ☎(079)221-2405
HP▶<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/category/2-10-1-2-12-0-0-0-0-0.html>

姫路市地域防災貢献事業所登録制度のご案内

地域防災の貢献に意欲のある事業所(団体を含む)を、姫路市地域防災貢献事業所として登録・公表し、災害が発生した時には事業所の持つ能力を重要な防災力として活用することにより、地域防災力の向上を目指します。

問い合わせ先 姫路市危機管理室
☎(079)223-9595



- ◆登録事業所の要件
 - ボランティア精神に基づき自発的に登録を希望する者
 - 姫路市の登録業者であること。(ただし、市長が認める場合は、この限りでない)
- ◆登録及び変更の方法
 規定の申請書に必要事項を記入のうえ、危機管理室まで申請
- ◆協力業務
 被災者救援に必要な資機材・人材・技術力、組織力・避難場所の提供など可能な範囲内での協力
- ◆経費負担について
 ボランティア精神に基づく防災協力という趣旨から、事業所負担とさせていただきます。(ボランティア保険の加入掛金は、市が負担)

Kamikatu 舎
kubon x and

有限会社くぼ写真製版所にて
kamikatu舎の製品を販売しています。
<http://www.kubonet.jp/>

陽の目を見なかった紙にセカンドステージを

印刷に必要な紙は、テスト刷りや色校正などにも使用するため、プロジェクトごとに必要枚数以上の紙を購入します。刷り終わると同じプロジェクトがない限り、残った紙は使われなくなり、倉庫で積み上げられていきます。そういった紙を余すことなく使うため、kamikatu舎では、日常的に使える「ノート」や「メモ帳」などの商品を企画したり、表紙と本文を組み合わせて作る「Myノート作りワークショップ」などに活用しています。

オンラインショップ

@kamikatusya